

# 島根益田信用組合の経営内容について

～令和5年度 上期の業績と仮決算～

当組合は地域との共存共栄をスローガンに掲げ、狭域の中、信用組合の原点に立ち返り「顧客との永い取引関係を維持する」ために、持ち味であるフットワークを活かして営業基盤の拡充を図り、協同組織金融機関として組合員のみなさまの社会的・経済的地位の向上に役立つことを目標に一層地域に密着し、地域の発展に努めています。

<コーポレートスローガン>

愛される信用組合を目指します

～ おつきあい まごころで～

<組 訓>

「奉仕」「繁栄」「啓発」

## ごあいさつ

皆様方には、日頃より島根益田信用組合に対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

私たち、“ますしん”は協同組織金融機関として、組合員のみなさまの社会的、経済的地位の向上に役立つことを目標に、地域との絆を大切にした顧客づくり、店舗づくり、人づくりにて地域に密着し、地元の発展に寄与していきたいと考えております。『仕事の心得』は、その実践の為の行動基準として掲げ、信用組合の原点である相互扶助を日々実践することで愛され・必要とされる信用組合の実現を目指します。



### 『仕事の心得』

1. 仕事は足と情熱で！
2. サービスは知恵と真心で！
3. 顧客の喜びに感謝を！

### しんくみの日 献血ボランティア

平成17年から18年間継続して

実施しています。

本年上半期は、新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、社会・経済活動の正常化が進みました。一方で、人手不足、ウクライナ紛争等による混乱から原材料、エネルギー価格の高騰、市場金利の上昇などにより依然として厳しい状況に置かれている事業者、個人も数多く存在しております。こうした経済状況のなか、私たち“ますしん”は地域の皆様が一番身近な金融機関としてお客様に寄り添い、スピード感のある金融仲介機能の発揮に努めております。

本年もここに「島根益田信用組合の経営内容について（ミニディスクロージャー誌）」を作成いたしましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

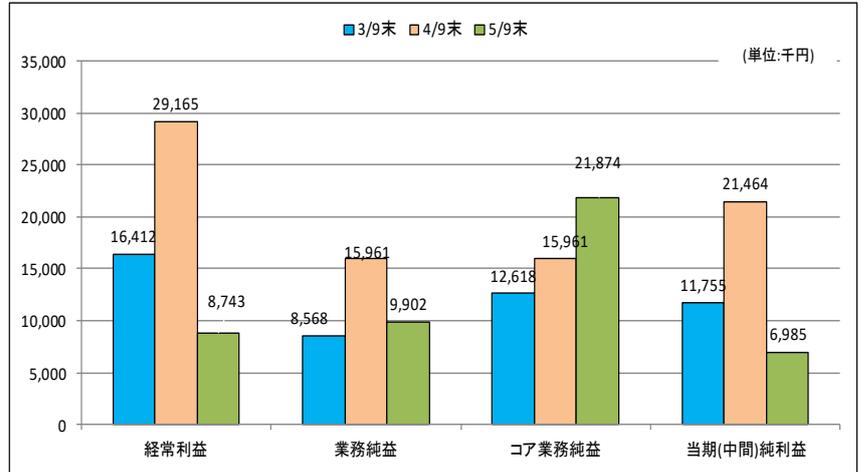
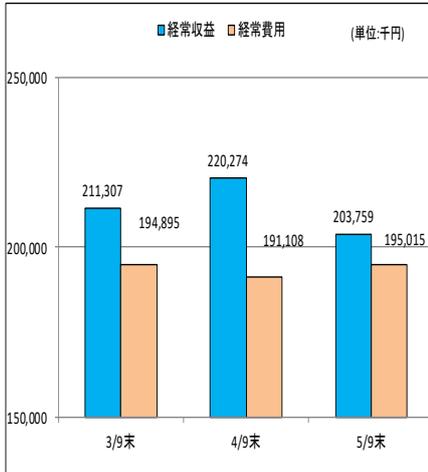
今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 損益の状況

経常収益は、貸倒引当金戻入益が前年同月比 13 百万円減少及びその他の業務収益などが 3 百万円減少したことを主な要因として、前年同月比 16 百万円減少の 203 百万円となりました。経常費用は、一般貸倒引当金繰入額が 11 百万円増加しましたが経費他が 8 百万円減少したことから前年同月比 3 百万円増加の 195 百万円となりました。

経常利益は、経常収益が 16 百万円減少し経常費用が 3 百万円増加したことから前年同月比 20 百万円減少の 8 百万円となりました。

金融機関の本業における収益力を示す指標のコア業務純益は前年同月比 5 百万円増の 21 百万円となりました。以上の結果から、最終的な当期純利益は前年同月比 14 百万円減少の 6 百万円となり令和 5 年 9 月末の仮決算は減収減益となりました。

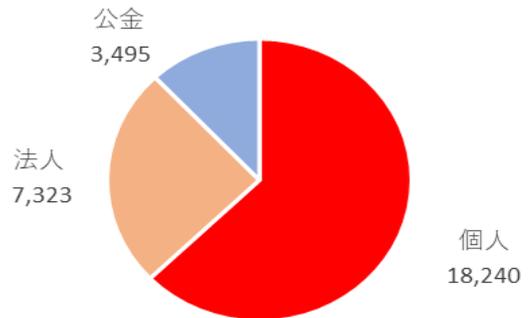
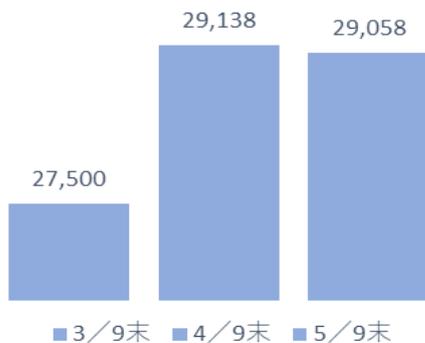


## 2. 預金・貸出金の状況

### (1) 預金

令和 5 年 9 月末の預金残高は、令和 4 年 9 月末 29,138 百万円から 80 百万円減少の 29,058 百万円となりました。内訳としては、流動性預金は 364 百万円の増加したものの、定期性預金は 444 百万円減少、この定期性預金の減少要因は、公金の出金によるものです。

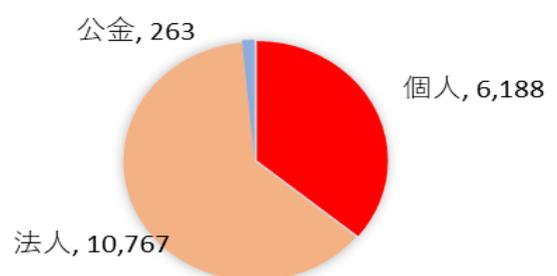
今後も地域のお客様のお役に立ち、喜んで頂くような活動を続け、預金の増加に取り組んで参ります。



### (2) 貸出金

令和 5 年 9 月末の貸出金残高は、令和 4 年 9 月末 16,397 百万円から 821 百万円増加の 17,218 百万円となりました。内訳としては、法人貸出が農畜産業や不動産業など大口需要への対応もあり 619 百万円増加、個人貸出は住宅が 144 百万円、フリー系も 29 百万円増加したため 209 百万円増加となりました。

これからも、地域社会に信頼され、地域の皆様に貢献するために貸出金の増強に努めて参ります。



## 貸出金業種別残高・構成比 (単位：百万円)

	残高	構成比		残高	構成比
製造業	847	4.9%	物品質貸業		
農業、林業	562	3.3%	学術研究、専門・技術サービス業		
漁業	2	0.0%	宿泊業	286	1.7%
鉱業、採石業、砂利採取業	141	0.8%	飲食業	667	3.9%
建設業	2,222	12.9%	生活関連サービス業、娯楽業	40	0.2%
電気、ガス、熱供給、水道業	136	0.8%	教育、学習支援業	414	2.4%
情報通信業	54	0.3%	医療、福祉	31	0.2%
運輸業、郵便業	657	3.8%	その他サービス	1,951	11.3%
卸売業、小売業	1,855	10.8%	その他の産業	539	3.1%
金融業、保険業	200	1.2%	地方公共団体	263	1.5%
不動産業	1,690	9.8%	個人(住宅、消費、納税資金等)	4,654	27.0%
			合計	17,218	100.0%

## 3. 財産の状況

## 資産・負債及び組合員勘定

(単位：千円)

資産の部	4年9月末	5年9月末	負債の部	4年9月末	5年9月末
現金	243,275	190,405	預金	29,138,252	29,058,306
預け金	10,692,814	9,151,794	当座預金	367,345	340,636
有価証券	4,393,512	4,135,727	普通預金	10,581,684	11,083,845
国債	281,180	264,610	貯蓄預金	16,672	13,323
地方債	91,340	86,520	通知預金	-	6,149
短期社債	-	-	定期預金	16,561,057	16,070,606
社債	2,816,759	2,719,679	定期積金	1,404,267	1,450,921
株式	114,496	92,752	その他の預金	207,224	92,823
その他の証券	1,089,737	972,166	借入金	1,000,000	200,000
貸出金	16,397,747	17,218,410	その他負債	35,946	52,897
割引手形	115,234	32,003	賞与引当金	7,354	6,829
手形貸付	74,528	354,380	退職給与引当金	71,878	73,597
証書貸付	14,978,961	15,371,007	役員退職慰労引当金	13,607	15,548
当座貸越	1,229,022	1,461,020	その他の引当金	16,288	7,553
その他資産	220,730	284,832	債務保証	44	25
固定資産	129,347	135,061	負債の部合計	30,283,371	29,414,756
繰延税金資産	127,552	165,865	純資産の部		
債務保証見返	44	25	出資金	229,704	226,819
貸倒引当金	△123,104	△162,679	利益剰余金	1,760,564	1,753,714
(うち一般貸倒引当金)	(△94,397)	(△128,243)	評価・換算差額等	△191,719	△275,846
(うち個別貸倒引当金)	(△28,707)	(△34,436)	純資産の部合計	1,798,549	1,704,686
資産の部合計	32,081,920	31,119,443	負債及び純資産の部合計	32,081,920	31,119,443

## 損益

科目	4年9月末	5年9月末
経常収益	220,274	203,759
業務収益	204,782	202,161
資金運用収益	194,511	193,598
(うち貸出金利息)	(164,628)	(165,303)
役員取引等収益	8,446	7,934
その他業務収益	1,823	628
臨時収益	15,492	1,598
経常費用	191,108	195,015
業務費用	188,820	192,258
資金調達費用	4,225	4,336
(うち預金利息)	(4,515)	(4,305)
役員取引等費用	18,034	18,100
その他業務費用	600	-
一般貸倒引当金繰入額	-	11,972
経費	165,959	157,848
臨時費用	2,288	2,757
経常利益	29,165	8,743
(業務純益)	15,961	9,902
(コア業務純益)	15,961	21,874
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	15,961	21,874
特別利益	-	-
特別損失	0	0
税引前当期純利益	29,165	8,743
法人税・住民税及び事業税	556	3,605
法人税等調整額	7,144	△1,846
当期(中間)純利益	21,464	6,985

## 令和5年9月末

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	簿価	差額
債券	4,195	3,887	△308
国債	300	264	△35
地方債	100	86	△13
社債	2,894	2,719	△175
外国証券	900	816	△83
株式	118	92	△25
投資信託	203	155	△47
合計	4,517	4,135	△381



総代会(令和5年6月23日)

コロナウイルス感染症防止対策を講じて開催  
いたしました。

益田市立保健センター 大ホールにて

## 4. 自己資本の状況

自己資本比率は、5年3月末の12.79%から0.69%低下し、5年9月末12.10%となりました。

国内で業務を行う金融機関の基準である4%の3倍以上という高い水準を維持しているのみならず、大手銀行等の海外で業務を行う金融機関の基準である8%をも大きく上回る高い水準となっており、健全な経営を行っております。

単位：百万円		
	5/3末	5/9末
自己資本比率 (A)/(B)×100	12.79%	12.10%
自己資本の額 (A)	2,086	2,105
コア資本に係る基礎項目の額	2,089	2,108
出資金及び資本剰余金の額	226	226
利益剰余金の額	1,751	1,753
外部流出予定額(Δ)	4	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	116	128
コア資本に係る調整項目の額(Δ)	3	3
リスク・アセット等の合計額 (B)	16,305	17,389

## 5. 不良債権の状況

単位：百万円

金融再生法で定められた開示債権額（不良債権額）は、4年9月末の394百万円から42百万円増加し、5年9月末436百万円となりました。

総債権額に占める開示債権額の割合（不良債権比率）については、不良債権額の増加によって、4年9月末2.40%から0.13%上昇し、5年9月末2.53%となりました。

なお、5年9月末の開示債権額436百万円は担保、保証等、引当金による保全額395百万円によって、その債権額の90.61%はカバーされております。

	4/9末	5/9末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	53	109	55
危険債権	216	182	△ 33
要管理債権	124	145	21
三月以上延滞債権	—	—	—
貸出条件緩和債権	124	145	21
開示債権 計 A	394	436	42
正常債権	16,003	16,781	777
合計	16,397	17,218	820
担保・保証等 B	280	306	25
貸倒引当金 C	54	89	35
保全額合計 D=B+C	335	395	60
担保、保証等、引当金による保全率D/A	85.10%	90.61%	5.51%
総債権額 E	16,397	17,218	820
不良債権比率 A/E	2.40%	2.53%	0.13%

### 島根益田信用組合

〒698-0024 島根県益田市駅前町14番23号 TEL0856-22-3030 FAX0856-23-6250  
E-mail masushin@beach.ocn.ne.jp https://shimanemasushin.com/